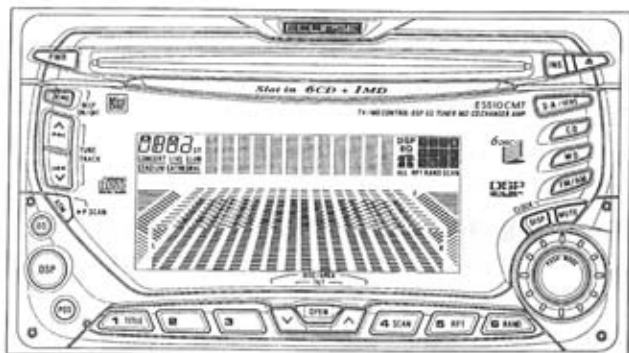


ECLIPSE

マルチコントロール 6CD/MDメインユニット

E5510CMT

取扱説明書



お買い上げいただきありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、お読みになった後も、必要なときにすぐご覧になれるよう
大切に保管してください。

FUJITSU TEN

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

なお、本書ではコンパクトディスクをCD、ミニディスクをMD、CDおよびMDを指す場合はディスクと表記しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

- 本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車では使用しないでください。
火災などの原因となります。
- 自動車の運転中にディスクの交換をしないでください。
事故などの原因となります。
- 包装材のビニール袋をかぶらないでください。
大きな事故や窒息死の原因となります。
- 自動車の運転中に音量調節等の操作をしないでください。
このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させてから行ってください。
- 事故防止のため、電池は幼児の手の届かない所に保管してください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合はただちに医師と相談してください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズをご使用ください。
規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

警告

- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
そのままご使用になると事故、火災、感電の原因となります。

注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- ディスク挿入口に異物を入れないでください。
火災や感電の原因となることがあります。
- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- 本機を車載用として以外は使用しないでください。
感電やけがの原因となることがあります。
- 長時間歪んだ状態で使用しないでください。
スピーカが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 本機は、不可視レーザー光を使用しています。本機を分解、改造しないでください。
万一不具合が生じた場合には、必ずお買い求めの販売店にご相談ください。本機の改造は、危険なレーザー放射の被爆（視力の低下の原因）をもたらしたり、事故の原因となることがあります。
- 指定の電池以外は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災やけがの原因となることがあります。
- 電池を機器内に挿入する場合、極性<+・->に注意し、表示通りに入れてください。
間違えると、電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。

目次

使用上のご注意	7
本機をお使いになるうえでのお願い	7
CDについて	9
8cm CDについて	11
CDの清掃	11
MDについて	12
MDの清掃	13
各部の名称	14
基本操作	15
電源を入れる/切る	15
CDを聞く	16
MDを聞く	17
ラジオを聞く	18
音量を調節する	19
前面パネルの角度を調整する	19
その他	20
CD部/MD部の操作	27
CDを1枚挿入する	27
全てのCDを挿入する	28
CDを聞く	29
MDを挿入する	30
MDを聞く	31
次の曲に進む/曲の頭に戻る	32
曲の始まりを演奏する (SCAN)	32
繰り返し演奏する (REPEAT)	33
曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)	33
次のディスクに進む/前のディスクに戻る	34
演奏するディスクを指定する	35
CD演奏時の表示を切り換える	35
CDのタイトルを設定する	36

設定したタイトルを変更する	38
設定したタイトルを削除する	39
MDのタイトルや曲名を表示させる	40
CDを取り出す	41
MDを取り出す	42
チューナ部の操作	43
ラジオを聞く	43
自動的に放送局を記憶させる	44
手動で放送局を記憶させる	45
記憶させた放送局を確認する	46
放送局名を表示する	46
FM放送について	47
DSP/EQの操作	51
DSPの操作	51
EQの操作	55
リモコンの操作	58
使用上の注意	58
清掃について	58
電源を入れる/切る	59
音量を調節する	59
機能を切り換える	59
チューナ利用時の操作	60
MD、CD利用時の操作	61
TV利用時の操作（1DINTV接続時のみ）	62
電池を交換する	63
(別売)CDオートチェンジャーを接続したとき の操作	65
CDに切り換える	65
次の曲に進む/曲の頭に戻る	65
曲の始まりを演奏する（SCAN）	66
繰り返し演奏する（REPEAT）	66
曲の順番を変えて演奏する（RANDOM）	66
次のCDに進む/前のCDに戻る	67

演奏するCDを指定する	67
表示を切り換える	68
CDのタイトルを設定する	68
設定したタイトルを変更する	70
設定したタイトルを削除する	71
 (別売)MDチェンジャーを接続したとき	
の操作	72
MDに切り換える	72
次の曲に進む/曲の頭に戻る	72
曲の始まりを演奏する (SCAN)	73
繰り返し演奏する (REPEAT)	73
曲の順番を変えて演奏する (RANDOM)	73
次のMDに進む/前のMDに戻る	74
ディスクタイトルや曲名を表示する	74
表示を切り換える	75
 困ったときは	76
インフォメーションが点滅する	77
 仕様について	82
 アフターサービスについて	84

◆ 使用上のご注意



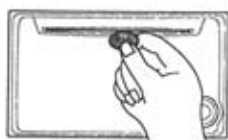
警告

走行中のオーディオ操作は、運転に支障がないように安全には十分注意して行ってください。

本機をお使いになるうえでのお願い



- ・ 安全のため運転中の音量は車外の音が聞こえる範囲でお楽しみください。
- ・ このCDデッキは左のマークのついたCD以外は使用できません。
- ・ CD-R(CD-Recordable)/CD-RW(CD-ReWritable)には対応していません。



- ・ ディスク挿入口には、コインやキャッシュカードなどディスク以外の異物を絶対に入れないでください。特にお子さまのいたずらに注意してください。

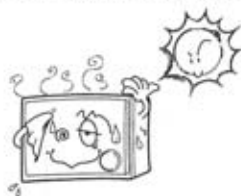


- ・ 悪路を走行中、激しく振動した場合、音が途切れる(音とび)ことがあります。このようなときは、路面のよい道路に出てからあらためて本機をご使用ください。



- ・ 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、デッキ内部にも露(水滴)が生じることがあります。この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。

使用上のご注意



- ・ 夏期は車内温度が高くなるので、車内の温度を下げてから本機をお使いください。



- ・ 湿気に注意してください。本機に液体が入ったり、かかったりすると思わぬ故障や破損の原因となります。本機周辺にセットしてあるドリンクホルダー内の飲み物などにはご注意ください。



- ・ 本機内部は、精密な構造になっているので、分解、改造はしないでください。万一、不具合が生じた場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。



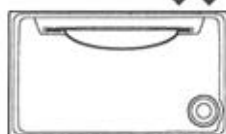
- ・ 本機は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、アルコールにひたした布をご使用ください。



- ・ 前面パネル開閉中に、手や指を近づけないでください。挟まれて怪我をすることがあります。

CDについて

記憶された信号は、ディスクに直接触れることなくレーザー光線によって読み取ります。信号面やラベル面にキズがついていたり、大きくそったディスクは音質の低下や音とびの原因になります。いつもよい音を楽しむため、次のことを十分注意してください。



- ・ ディスクをイジェクト状態のまま長時間放置しないでください。そりの原因となります。
ディスクは必ずケースに入れて、直射日光の当たる場所や高温・多湿の場所をさけて保存してください。



- ・ 信号面やラベル面に紙やシールなどを貼りつけたり、文字を書いたり、キズをつけたりしないようにしてください。



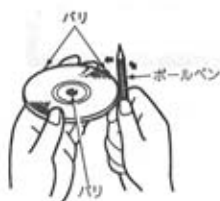
- ・ CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤにかけると、CDが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



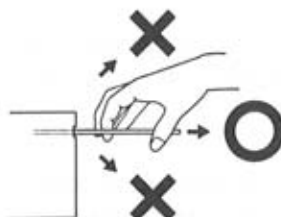
- ・ ディスクはデッキ内部で高速回転します。ヒビがはいったり、そりが大きいディスクはCDデッキの故障の原因となりますので使用しないでください。

- ・ 信号面に触れないように取り扱いってください。

使用上のご注意



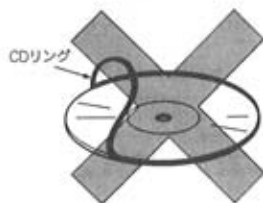
- 新しいCDをご使用になると、CDのセンターホールや外周部に『バリ』があることがあります。『バリ』がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。『バリ』がついているCDを使用すると、デッキに入らなかったり、使用中に『バリ』の破片がCDの信号面に付着し、音とびをしたりする場合があります。



- 本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側に強く押しながら引き出すとCD記録面にキズをつける原因となります。



- 音質向上やCD保護用として市販されているアクセサリ(スタビライザー、保護シールなど)は、使用しないでください。CDの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。



- 音質向上や防振効果を高めるCDの保護用として市販されているアクセサリ(CDリング、プロテクター)は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



- ハート形や八角形など特殊形状のCDは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

8cm CDについて

- ・ 本機で、8cmCD(シングル)を使用する場合は、必ず当社の別売CDシングルアダプタ(UU-80)を使用してください。CDシングルアダプタに入れずに8cmCDを挿入すると排出され動作しません。
- ・ CDシングルアダプタは、高温になる所(ダッシュボードの上など)に長時間放置しないでください。変形の原因となります。変形したCDシングルアダプタを挿入されますと動作不良の原因となります。

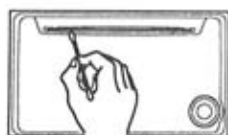
CDの清掃



- ・ ディスクが汚れたときは、市販のコンパクトディスク・クリーナーでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。



- ・ ベンジン、シンナー、LP用スプレーやクリーナーなどは使用しないでください。



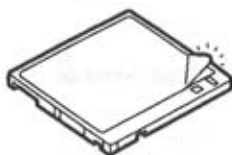
- ・ ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので時々掃除してください。ホコリがたまった状態でディスクを挿入すると、ディスクにキズがつくことがあります。

MDについて

いつもよい音を楽しむため、次のことを十分注意してください。



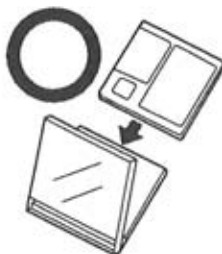
- ・ MDは直射日光や湿気の多いところを避けて保管してください。MDが反り、使用できなくなる恐れがあります。



- ・ ラベルがはがれかけていたり、ネームテープが貼ってあるMDは使用しないでください。



- ・ MDのシャッターは、手で開けないでください。



- ・ MDは、ケースに入れて保管してください。

MDの清掃



- ・ベンジンやシンナーなどを使用すると、ケースや塗装が変質するので使用しないでください。
- ・MDのカートリッジ部表面についたホコリやゴミなどは乾いた布で拭き取ってください。
- ・ディスク挿入口は、ホコリがたまりやすいので、ときどき掃除してください。

◆ 各部の名称

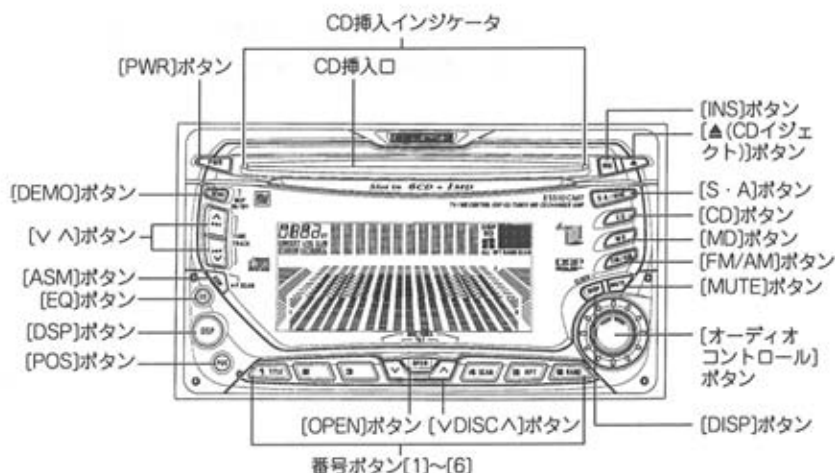
本機のおもなボタンを紹介します。

詳細は、各操作の説明を参照してください。

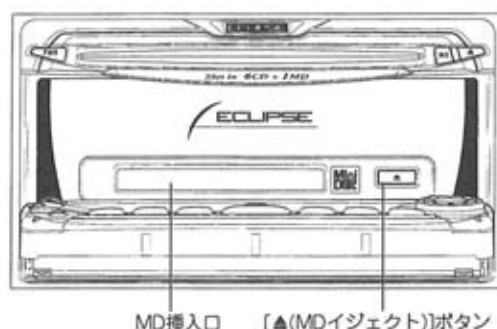
(CD部/MD部の操作 27ページ、チューナ部の操作 43ページ、

DSP/EQの操作 51ページ)

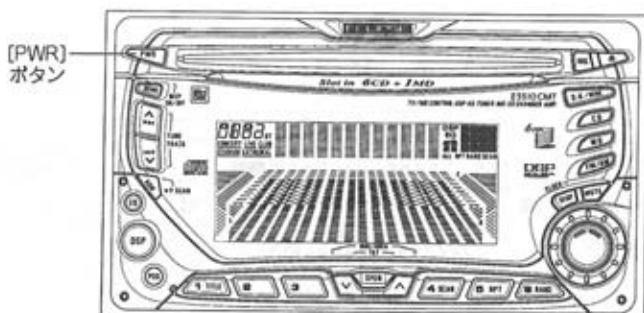
本機正面



前面オープン時



●注意●



◆ 基本操作

本機をご利用いただくための基本的な操作について説明します。詳しくは、機能別の説明を参照してください。

■ 電源を入れる/切る

電源を入れたり(ON)、切ったり(OFF)します。

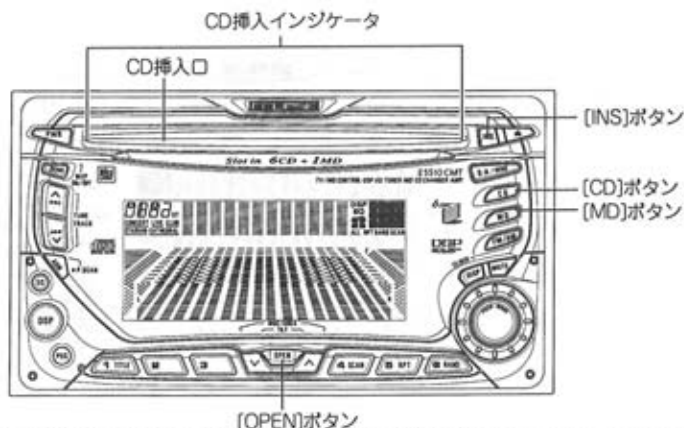
ACCポジションのない車両の場合、電源を切る際注意が必要です。

電源を切るときは、手順2または手順3にしたがって操作してください。

1. 電源がOFFの状態^{パワー}で[PWR]ボタンを押す
電源がONになります。
2. 電源がONの状態^{パワー}で[PWR]ボタンを2秒未満押す
電源がOFFになり、スタンバイ状態となります。
3. 電源がONの状態^{パワー}で[PWR]ボタンを2秒以上押す
電源がALL OFFになります。

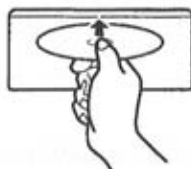
● 注意 ●

欧州車などACCポジションのない車両の場合、降車の際は必ず^{パワー}[PWR]ボタンを2秒以上押して電源をOFFにしてください。
バッテリーが上がる恐れがあります。



■ CDを聞く

1. ^{インサート}[INS]ボタンを短めに(2秒未満)押す
2. CD挿入インジケータが点滅している間 (15秒間) に、ラベル面を上にしてCDを挿入する。
CDが引き込まれ、自動的に演奏が始まります。



すでにCDがセットされているときは、[CD]ボタンを押すと演奏が始まります。

■ MDを聞く

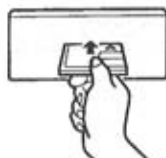
1. [OPEN]ボタンを短めに押す

前面パネルが開きます。

2. MD挿入口にMDを挿入する

MDが引き込まれ、自動的に演奏が始まります。

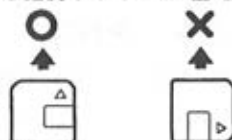
MD挿入口の位置は、各部の名称（14ページ）を参照してください。

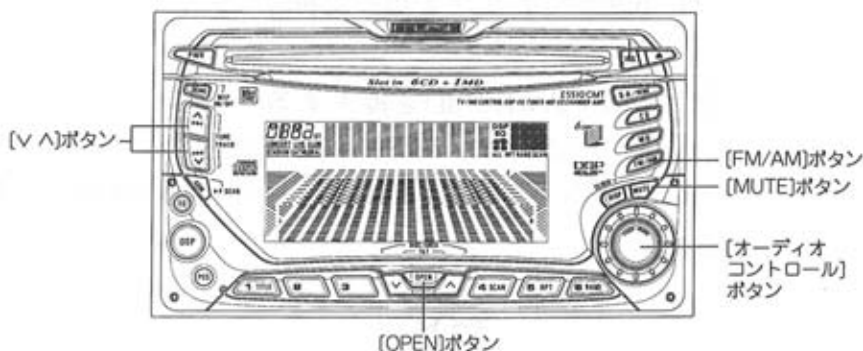


すでにMDがセットされているときは、[MD]ボタンを押すと演奏が始まります。

●注意●

MDの矢印の向きを確認し、ラベル面を上にして挿入してください。





■ ラジオを聞く

1. [FM/AM]ボタンを押す
チューナの操作に切り換わります。
2. [FM/AM]ボタンを押す
ボタンを押すたびにFM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。
3. [V ^]ボタンを押す
^.....周波数の高いほうへ移る
V.....周波数の低いほうへ移る
[V ^]ボタンを長めに(1秒以上)押すと、電波の強い放送局を自動的に受信します。

■ 音量を調節する

1. [オーディオコントロール]ボタンを左右に回す

左に回す.....音量が小さくなる

右に回す.....音量が大きくなる



- ・ 瞬時に音量を小さくしたい時は、[MUTE]ボタンを押します。
- ・ 音量を大きくするには、もう一度[MUTE]ボタンを押すか、[オーディオコントロール]ボタンを右側に回します。

■ 前面パネルの角度を調整する

ディスプレイをお好みの角度に調整できます。

1. [OPEN]ボタンを長めに(1秒以上)押す

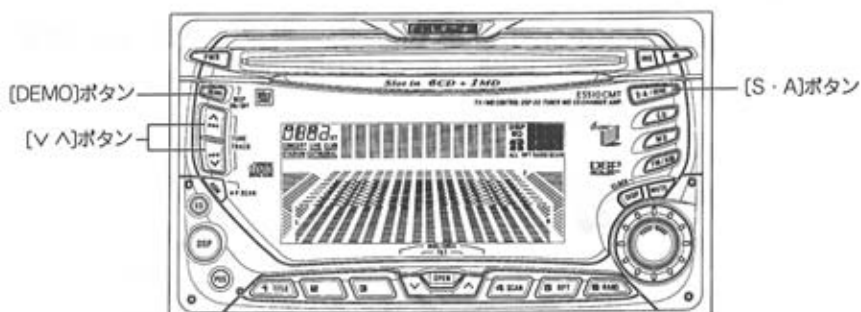
ボタンを押している間、前面パネルが開き続けます。

ボタンから手を離すと、任意の角度で停止します。

前面パネルは調整可能な角度の限界に達した時点で停止します。



調整終了後、[OPEN]ボタンを1秒未満押すと前面パネルが全開し、1秒以上押すと完全に閉じられます。



■ その他

本機は、他に次のような機能があります。

▼ ガイドトーン（操作音）解除

お買い求めになったときは、本機を操作すると「ピッ」というガイドトーンがなるように設定されています。

次の手順でガイドトーンが解除できます。

1. [DEMO]ボタンを長めに（1秒以上）押す

「BEEP ON」または「BEEP OFF」と表示され、設定のON/OFFが切り換わります。

▼ スペアナ表示機能

1. [S・A]ボタンを押しながら[▽△]ボタンを押す

△.....上段の表示パターン切り替え

▽.....下段の表示パターン切り替え

ボタンを押すたびに、次のように表示が切り換わります。

スペアナ1 ノーマル1

スペアナ2 ピークホールド

スペアナ3 ノーマル2

スペアナ4 ノーマル3

スペアナ5 シンメトリー1

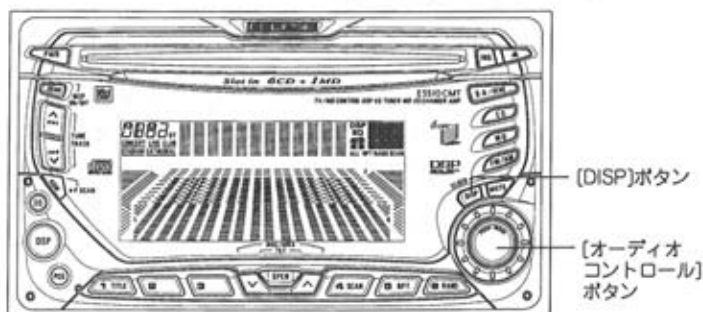
スペアナ6 シンメトリー2

スペアナOFF 表示なし

スペアナモード(感度の幅)は、次の方法で切り換えることができます。

1. [S・A]ボタンを押す

Hi→Mid→Loの順に切り換わります。



▼ 出力レベルの調整

出力レベルを調整することができます。

1. [オーディオコントロール]ボタンを短めに（1秒未満）押す
ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



2. [オーディオコントロール]ボタンを左右に回す
各モードのレベルを調整します。

右………強調する
左………弱める



- ・ DSP/EQがOFFのとき、またはDSP/EQの詳細を調整中は、簡易調整を行えません。（「DSP/EQの操作」50ページ参照）
- ・ DSP/EQがONのときは、FADERは調整できません。

▼ 各モードを表示する

以下の手順で各モードを表示します。

1. ^{ディスプレイ}[DISP]ボタンを1秒未満で押す
 押すごとに各モードの状態表示（初期設定表示）と時計表示が次のように切り換わります。

チューナモード時	→放送局名表示 → 時計表示→
TVモード時	→時計表示 → チャンネル→
MDプレーヤ、CDチェンジャー、MDチェンジャー	→タイトル → 時計表示→

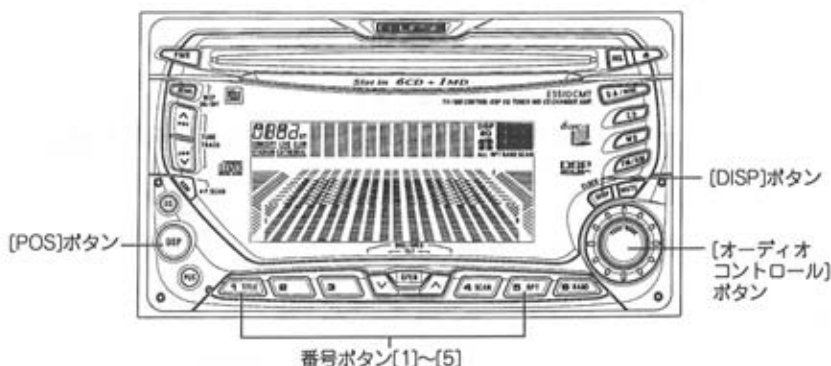
表示モードについては、モードに関係なく、その時の表示モードをラストメモリします。

▼ 表示の輝度を切り換える

以下の手順で表示の輝度のレベルを3段階に切り換えることができます。

1. ^{ディスプレイ}[DISP]ボタンを長めに（1秒以上）押す
 押すごとに輝度のレベルが次のように切り換わります。





▼ 時刻の設定

本機は、12時間表示になっています。真夜中はAM 12:00、正午はPM 12:00と表示されます。

1. ディスプレイ [DISP]ボタンを押す
時計表示に切り換えます。
2. ディスプレイ [DISP]ボタンを押しながら番号ボタン[1]～[4]のいずれかを押す
ディスプレイ [DISP]ボタンと任意の番号ボタンを同時に押し続けると、時間や分の表示が連続して増減します。

時間を調節します。

番号ボタン[1]・・・1時間減る

番号ボタン[2]・・・1時間増える

分を調節します。

番号ボタン[3]・・・1分減る

番号ボタン[4]・・・1分増える



00分00秒(正時)に時計を合わせたいときは、ディスプレイ [DISP]ボタンを押しながら番号ボタン[5]を押します。

正時合わせは、30分単位で切り換わります。

例)

PM 3:29→ディスプレイ [DISP]ボタン+番号ボタン[5]→PM 3:00

PM 3:30→ディスプレイ [DISP]ボタン+番号ボタン[5]→PM 4:00

▼ POSITIONモードの設定

聞き手の座席の位置を設定すると、スピーカーから聞き手に音が届くまでの時間を調節し、より自然な音像定位を得られます。本機では、4種類のポジションを設定できます。選択したPOSITIONモードに合わせてポジションセレクトタのインジケータが点灯します。



F・R（前席右）……②

F・L（前席左）……①

FRONT（前席）……① ②

REAR（後席）……③ ④

OFF（解除）……なし

1. [POS]ボタンを短めに(1秒未満) 押す

設定が、OFF→F・R→F・L→FRONT→REARの順に切り換わります。

▼ NON Faderフェーズの設定

以下の手順で位相を切り換えます。

1. [POS]ボタンを長めに(1秒以上)押す

位相を切り換えることでフルレンジスピーカーとウーファの音のつながりを改善できます。

位相を切り換え、違和感なくつながる方を選んでください。

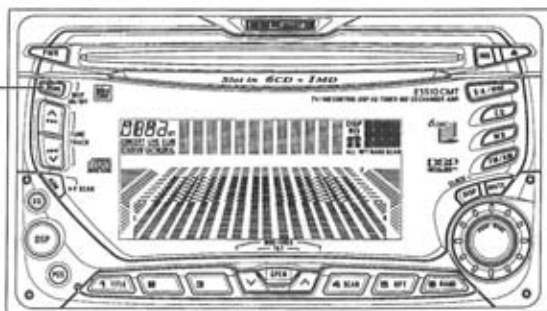
▼ ラウドネスの設定

ラウドネスを設定すると、一定のレベルで低音を強調します。小さな音量で聞くとときにラウドネスをONにすると低、高音の不足感が補正されます。初期設定ではONに設定されています。

1. [オーディオコントロール]ボタンを長めに(1秒以上)押す

「LOUD ON」または「LOUD OFF」と表示され、設定のON/OFFが切り換わります。

[DEMO]ボタン



▼ デモンストレーション機能（販売店様向け機能）

お買い求め（取り付け）になったときは、本機が持っている機能を一定の間隔で表示（デモンストレーション）するように設定されています。

次の手順で表示の設定/解除を行います。

1. 電源が入っていることを確認する
2. [DEMO]ボタンを短めに押す

設定がONになっているときは解除され、OFFになっているときはONになります。

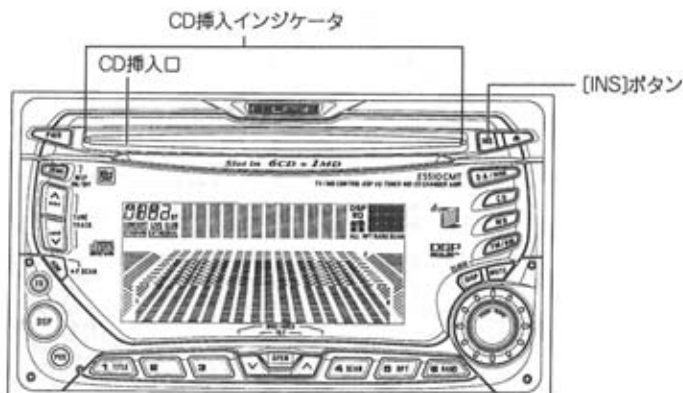


これ以外に本機の電源やACCをOFFにした場合に解除されます。



警告

自動車の運転中に音量調整等の操作をしないでください。このような操作は、必ず安全な場所に車を停止させてから行ってください。



◆ CD部/MD部の操作

ディスクを聞くととき、または取り出すとき以外の操作はCD、MD共通です。

■ CDを1枚挿入する

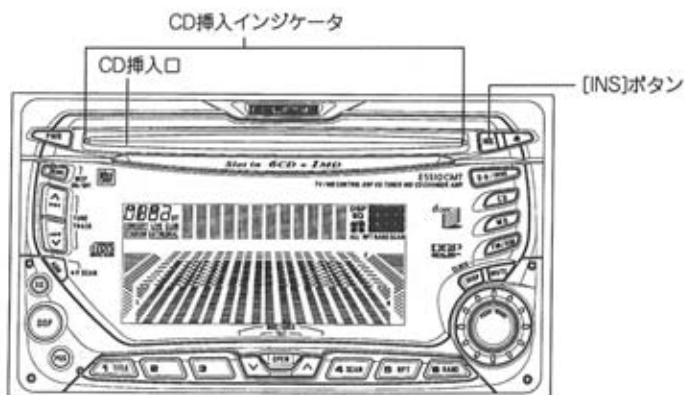
1. ^{インサート}[INS]ボタンを押す
2. CD挿入インジケータが点滅している間(15秒間)に、ラベル面を上にしてCDを挿入する
自動的にディスクが引き込まれ、1曲目の演奏が始まります。



●注意●

CD挿入インジケータは15秒間点滅した後、挿入口のシャッタを閉じて消灯します。

消灯後、無理にCDを挿入しようとすると故障の原因となります。

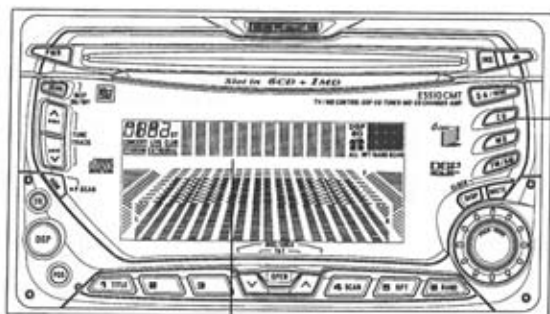


■ 全てのCDを挿入する

本機は、一度に6枚のCDをセットしておくことができます。

1. ^{インサート}[INS]ボタンを2秒以上押す
2. CD挿入インジケータが点滅している間(15秒間) に、ラベル面を上にしてCDを挿入する
3. 再びCD挿入インジケータが点滅してから、次のCDを挿入する

全ディスク(6枚)が挿入されるまでこの動作を繰り返し、最後のディスクの挿入が完了すると、自動的に演奏が始まります。



CDインジケータ

■ CDを聞く

1. [CD]ボタンを押す

CDモードに切り換わり、演奏が始まります。

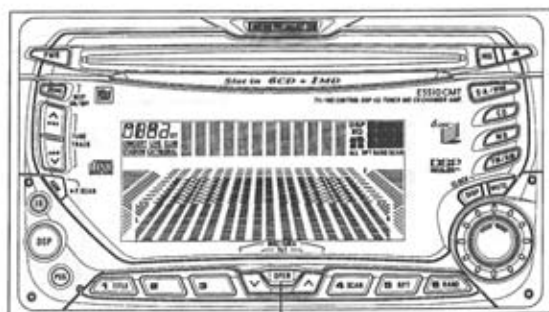
別売のCDチェンジャーを接続しているときは、ボタンを押すたびに内蔵または別売CDオートチェンジャーが交互に切り換わります。



CDがセットされているときは、セットされている番号のCDインジケータが表示部に点灯します。

●注意●

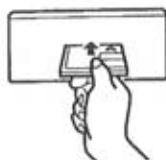
CDにキズや汚れがあると、演奏中に音が途切れることがあります。



[OPEN]ボタン

■ MDを挿入する

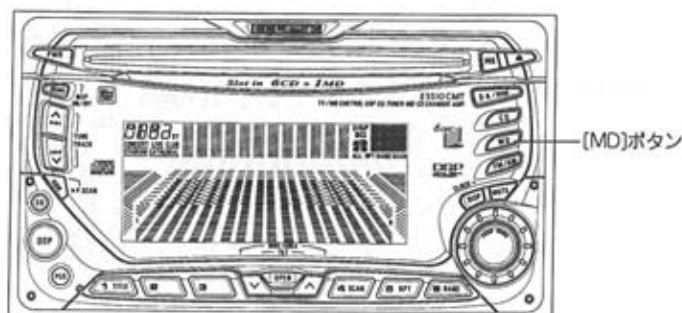
1. [OPEN]ボタンを短めに押す
前面パネルが開きます。
2. MD挿入口にMDを挿入する
MDが引き込まれ、自動的に演奏が始まります。
MD挿入口の位置は、各部の名称（14ページ）を参照してください。



●注意●

MDの矢印の向きを確認し、ラベル面を上にして挿入してください。





■ MDを聞く

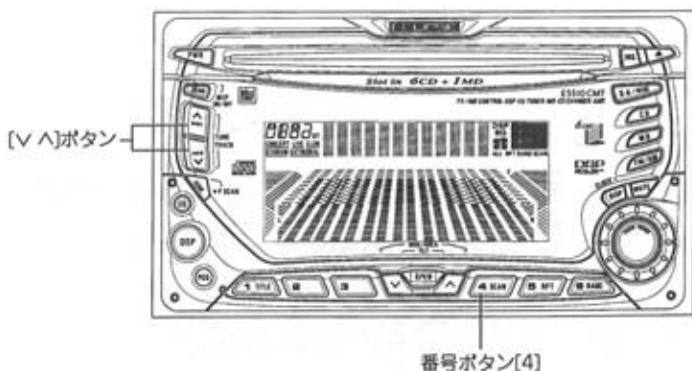
1. [MD]ボタンを押す

MDに切り換わり、演奏が始まります。

MDチェンジャーを接続しているときは、MDプレーヤとMDチェンジャーが切り換わります。

●注意●

MDにキズがあると、演奏中に音が途切れることがあります。



■ 次の曲に進む/曲の頭に戻る

次の曲や演奏中の曲の頭へ移動します。

1. [V ^]ボタンを押す

^……次の曲に進む

V……演奏中の曲の頭に戻る



ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(^方向)または早戻し(V方向)します。

■ 曲の始まりを演奏する^{スキャン}(SCAN)

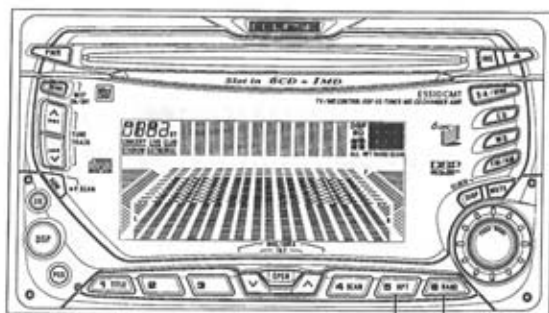
1. 番号ボタン[4]を押す

MDプレーヤの場合、演奏しているディスク全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。

CD(MD)チェンジャーの場合、次のように動作します。

短く(1秒未満)押す……演奏しているディスク全曲の始まりを
10秒間ずつ演奏する

長く(1秒以上)押す……チェンジャー内にある全ディスクの1
曲目を10秒間ずつ演奏する



番号ボタン[5], [6]

■ 繰り返し演奏する(リピート)

1. 番号ボタン[5]を押す

MDプレーヤの場合、演奏中の曲を繰り返し演奏します。

CD(MD)チェンジャーの場合、次のように動作します。

短く(1秒未満) 押す.....演奏中の曲を繰り返し演奏する

長く(1秒以上) 押す.....演奏中のディスク内の全曲を繰り返し演奏する

■ 曲の順番を変えて演奏する(ランダム)

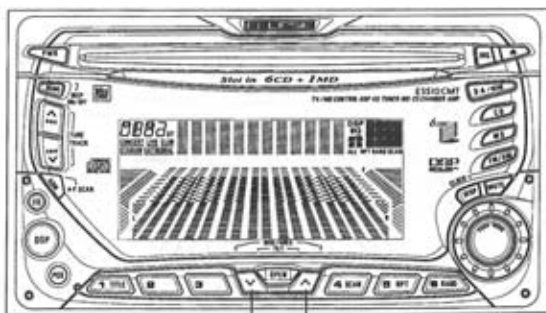
1. 番号ボタン[6]を押す

MDプレーヤの場合、演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏します。

CD(MD)チェンジャーの場合、次のように動作します。

短く(1秒未満)押す.....演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏する

長く(1秒以上)押す.....セットしている全ディスク内の曲を順不同に演奏する



[vDISC^]ボタン



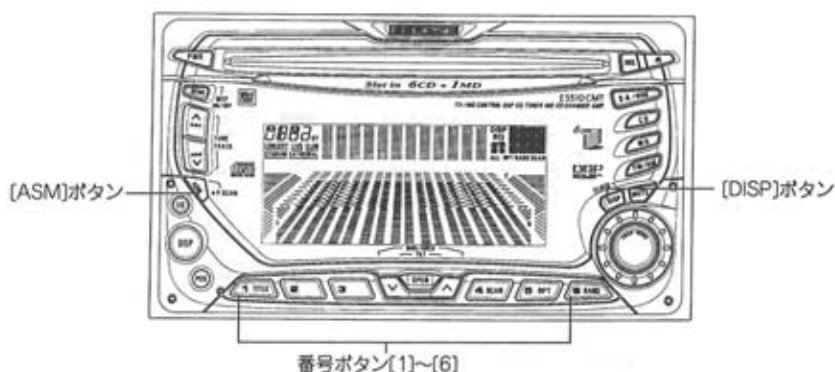
- ・ まれに同じ曲が続けて演奏（選択）されることがありますが、故障ではありません。
- ・ 「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」、「REPEAT」、「RANDOM」、「ALL」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

■ 次のディスクに進む/前のディスクに戻る

1. [vDISC^]ボタンを押す

^ ディスク番号が上のディスクへ移る

v ディスク番号が下のディスクへ移る



■ 演奏するCDを指定する

セットしているCDのうち、お聞きになりたいCDをダイレクトに指定できます。

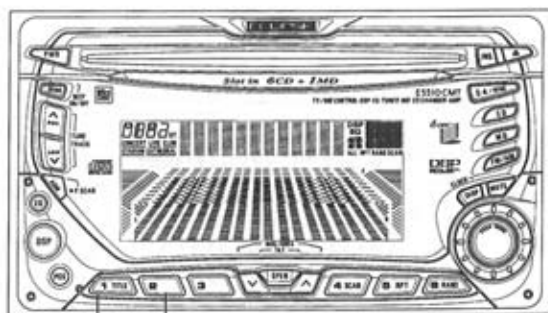
1. [ASM]ボタンを押す
2. 番号ボタン[1]~[6]のいずれかを押す

番号ボタン	1	2	3	4	5	6
ディスク番号	1	2	3	4	5	6

■ CD演奏時の表示を切り換える

1. ^{ディスプレイ}[DISP]ボタンを押す

ボタンを押すたびにタイトル→時計の順に表示が切り換わります。



番号ボタン[1]、[2]

■ CDのタイトルを設定する

CDにタイトルをつけ、表示させることができます。タイトルを設定していないときは、「NO TITLE」と表示されます。



- ・最大30枚分のタイトルを記憶させることができます。
- ・すでに30枚分のタイトルを記憶しているときは、「FULL DATE」と表示され設定モードになりません。
- ・タイトルは、最大12文字まで入力できます。

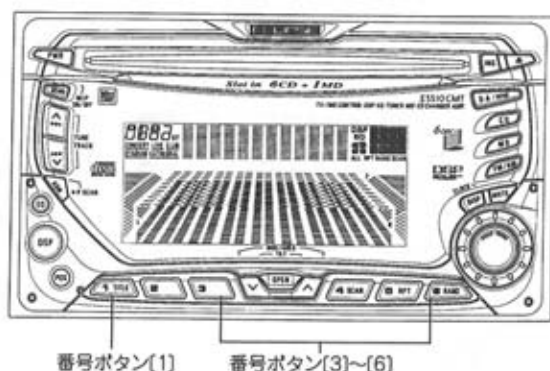
タイトルを設定したいディスクを選んでから以下の動作を行ってください。

1. 番号ボタン[1]を押す

ディスクタイトル設定モードになります。

2. 番号ボタン[2]を押して入力する文字の種類を選択する

「SELECT□□□」と表示され、ボタンを押すと「ABC」（大文字アルファベット）→「アイウ」（カナ）→「123」（数字）→「!#」（記号）の順に切り換わります。



3. 番号ボタン[3]または番号ボタン[4]を押して入力位置を選択する

点滅している位置に文字が入力されます。

番号ボタン3.....左に戻る $\square \overline{B} C$

番号ボタン4.....右に進む $A \square \overline{C}$



- ・ 入力する文字の種類を変更するとき、手順2、3を繰り返してください。
- ・ 文字は最大12文字まで入力できます。

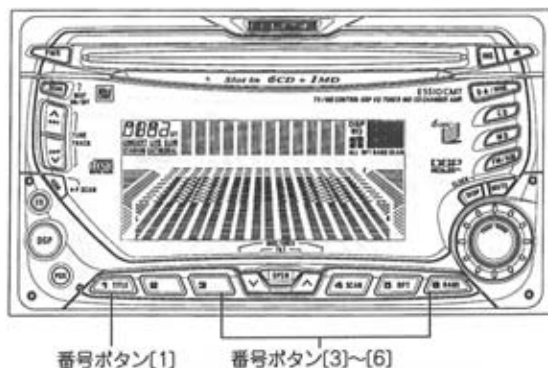
4. 番号ボタン[5]または番号ボタン[6]を押して文字を選択する

番号ボタン5.....前に戻る

番号ボタン6.....次に進む

5. 番号ボタン[1]を押す

CDのタイトルが設定されます。



■ 設定したタイトルを変更する

1. 番号ボタン[1]を押す

ディスクタイトル設定モードになります。

2. 番号ボタン[3]または番号ボタン[4]を押して変更 したい文字を点滅させる

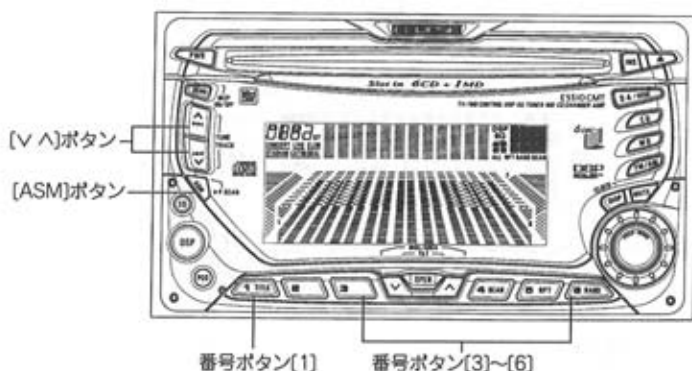
番号ボタン3.....左に戻る

番号ボタン4.....右に進む

3. 番号ボタン[5]または番号ボタン[6]を押して入力 する文字を選択する

番号ボタン5.....前に戻る

番号ボタン6.....次に進む



空白を入りたいときは、以下の手順にしたがってください。

1. 番号ボタン[3]または[4]を押してカーソルを移動し、空白を入りたい場所を点滅させる

A B C

2. 番号ボタン[5]または[6]を押して空白を選ぶ

A □ C

4. 番号ボタン[1]を押す

タイトルが変わります。

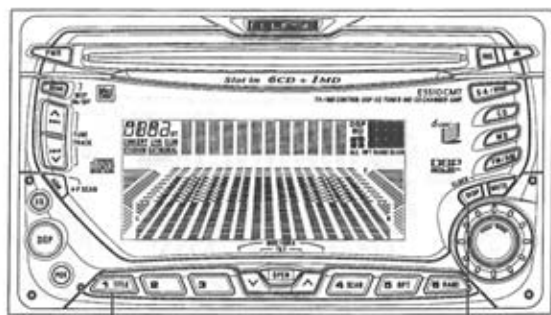
■ 設定したタイトルを削除する

1. タイトル全体が点滅するまで番号ボタン[1]を押す

A B C

2. 削除したいタイトルを[V ^] ボタンで選ぶ

3. 「DELETE!!」と表示されるまで「ASM」 ボタンを押す



番号ボタン[1]

[DISP]ボタン

■ MDのタイトルや曲名を表示させる

MDにタイトル名や曲名などが記録されているときは、それらをスクロール表示させることができます。表示できる文字数は英数字100文字、カタカナ混在の場合100文字未満となります。表示部には、最大12文字まで表示され、以降の文字はスクロールされます。

1. ^{ディスプレイ}[DISP]ボタンを押して、タイトル名または曲名が表示されるまで切り換える

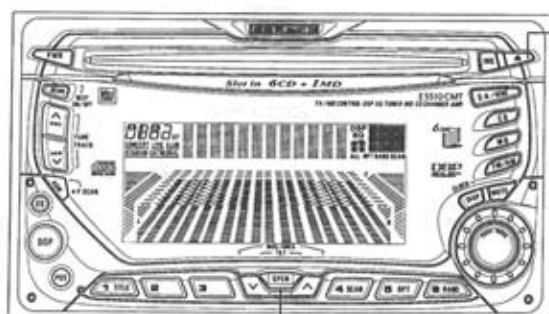
ボタンを押すたびに、タイトル→時計の順に切り換わります。

2. タイトルを表示させ、番号ボタン[1]を押す

ボタンを押すと、ディスクタイトル→トラックタイトルの順にスクロール表示され、トラックタイトルを表示した状態で止まります。再度ボタンを押すと、ディスクタイトルからスクロール表示を始めます。ボタンを1秒以上押すと、トラックタイトルが2段表示され、上方向へスクロールを繰り返します。再度ボタンを押すと解除されます。

●注意●

- ・ MDにタイトルが記録されていないときや本機の表示部にMDのタイトルまたは曲名が表示されていないときは、この機能はご使用になれません。
- ・ 入力した機器によって、タイトルが正常に表示されないことがあります。
- ・ ディスクによって全てのタイトル文字が表示されないことがあります。



[▲(CDイジェクト)]ボタン

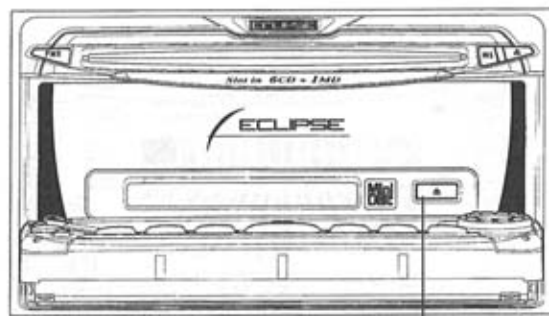
[OPEN]ボタン

■ CDを取り出す

1. [▲(CDイジェクト)]ボタンを押す

セットされていたディスクが排出されます。

すべてのディスクを取り出すときは、[▲(CDイジェクト)]ボタンを長めに(2秒以上)押します。



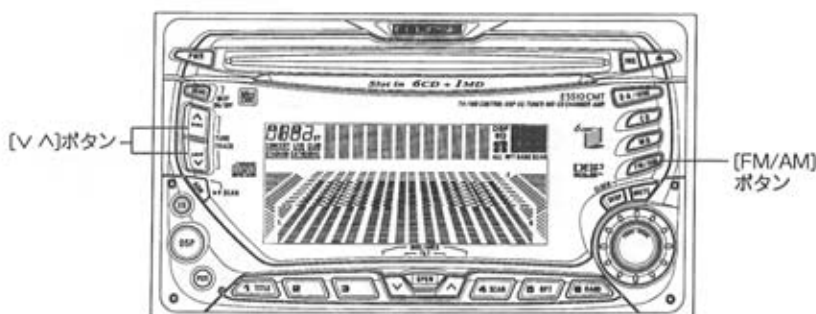
[▲(MDイジェクト)]ボタン

■ MDを取り出す

1. [▲(MDイジェクト)]ボタンを押す
セットされていたディスクが排出されます。
2. MDを取り出してから[OPEN]ボタンを押す
前面パネルが閉じます。

●注意●

MDが排出された状態のまま、前面パネルを閉じないでください。
MDと前面パネルが接触し、傷がついたり、故障の原因となります。
この場合、[OPEN]ボタンを短めに押してMDを取り出してから前面
パネルを閉じてください。



◆ チューナ部の操作

本機は、自動と手動の2通りの方法で放送局を記憶できます。
AM1、2が各6局、FM1、2が各6局を記憶できます。

■ ラジオを聞く

すでに放送局を記憶させている場合は、任意の番号ボタン（プリセットボタン）を押すと記憶させた放送局を受信できます。

1. [FM/AM]ボタンを押す

チューナの操作に切り換わります。

2. [FM/AM]ボタンを押す

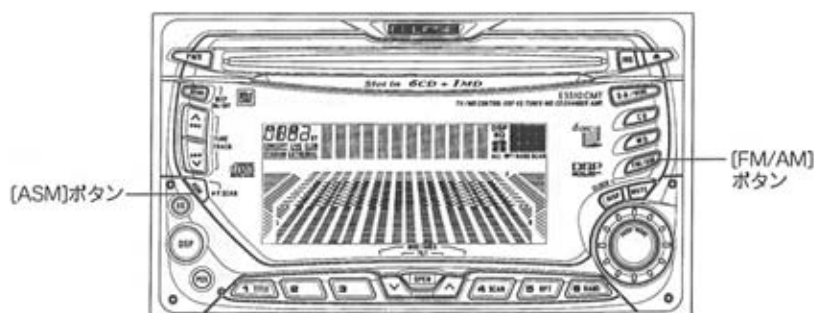
ボタンを押すたびに、FM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。

3. [V ^]ボタンを押す

^周波数の高いほうへ移る

V周波数の低いほうへ移る

[V ^]ボタンを長めに(1秒以上)押すと、電波の強い放送局を自動的に受信します。



■ 自動的に放送局を記憶させる

[FM/AM]ボタンを押して、FMまたはAM放送を選んでおきます。

1. 「ASM ON」と表示されるまで[ASM]ボタンを押す

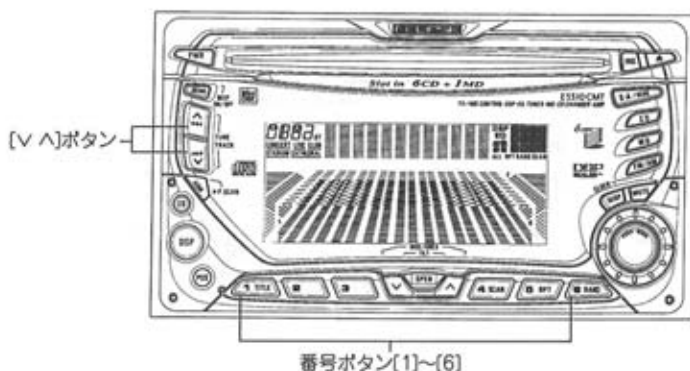
周波数の高い方へ自動的に選局を始めます。

受信電波の強い6局が周波数の低い方から高い方へ順に記憶されます。

「ASM END」と表示されると完了です。操作完了後は、最後に記憶された放送局を受信します。



- ・ASMとは、オートステーションメモリーの略です。
- ・ご希望の放送が記憶できなかった場合は、手動で放送局を選ぶこともできます。



■ 手で放送局を記憶させる

ASMでご希望の放送がメモリーでできなかった場合など、手で放送局が選べます。

1. [V H]ボタンで記憶する周波数に合わせる
2. 「P1~6 MEMORY」と表示されるまで任意の番号ボタン[1]~[6]を押す

選択した放送局が番号ボタンに記憶されます。

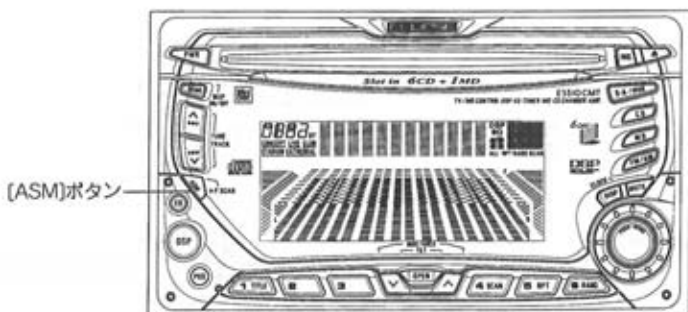
このボタンをプリセットボタンと呼びます。



番号ボタンを押すと、プリセットした放送局を呼び出すことができます。

● 注意 ●

車両の整備、本機の取り外しなどによってバッテリーとの接続が断たれたときおよびリセットボタンの操作をしたときは、ここでの記憶は消去されます。この場合は、改めて放送局を記憶させてください。



■ 記憶させた放送局を確認する

1. [ASM]ボタンを押す

「P.SCAN」と表示され、記憶された放送局を5秒間ずつ受信します。

再度[ASM]ボタンを押すと解除されます。

■ 放送局名を表示する

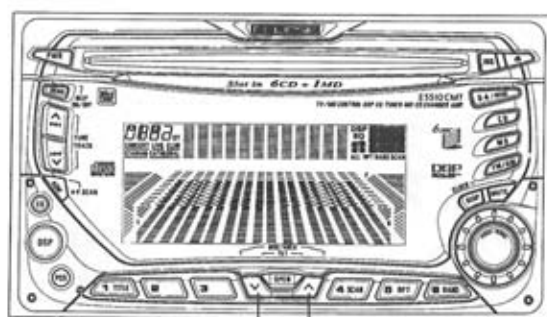
受信した周波数に対応する放送局名を表示します。表示する放送局名は、各地域で異なりますのでお使いのエリアを選択してください。



選択したエリアにその周波数がない場合、放送局名は表示されません。

●注意●

エリアを選択しても、そのエリアでの周波数はプリセットされません。

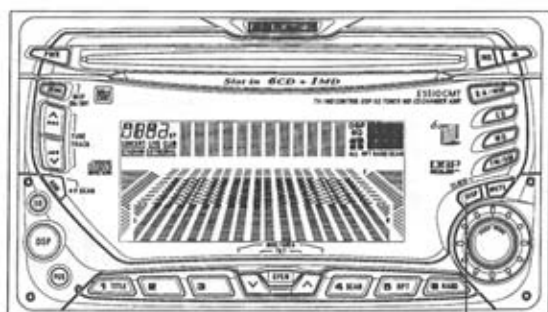


[V DISC ^]ボタン

1. [V DISC ^]ボタンを押す

ボタンを押すごとに、下表の順に放送局名エリアが切り換わります。ご使用のエリアを選択してください。

エリア名	対象となる都道府県
ホッカイドウ	北海道
トウホク	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
カントウ	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野
チュウブ	岐阜、愛知、三重、富山、石川、福井、静岡
キンキ	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
チュウゴク	鳥取、島根、岡山、広島、山口
シコク	徳島、香川、愛媛、高知
キウシュウ	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄
セツタイカイジョ	



[DISP]ボタン

2. 放送局名が表示されるまで^{ディスプレイ} [DISP] ボタンを押す

●注意●

- ・ 500W以下のAM放送局(中継局)および100W以下のFM放送局(中継局)のデータには対応していないため、放送局名が表示されません。
- ・ 設定されているエリア以外の放送局を受信したときは、放送局名が表示されない場合があります。
- ・ 同一エリアに複数の放送局があるときは、次のような表示をする場合があります。

IWATE/NHK……FM岩手とNHK FMの場合

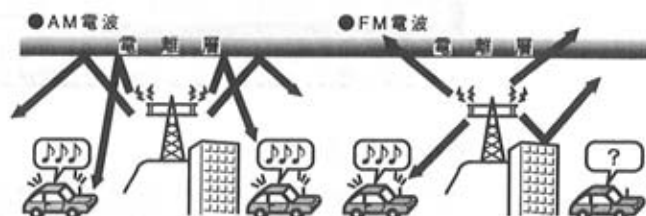
- ・ 放送局によっては、正式な名称を表示しない場合があります。(12文字まで表示します)
- ・ 本機の放送局名データは、平成12年1月1日現在のものです。

■ FM放送について

FM放送は、普通のラジオ放送(AM)に比べて、よりよい音質で聞くことができるうえ、ステレオ受信もできます。しかし、FM電波の性質上、移動する車で受信するには以下の点をご了承ください。

1. FM電波の直進性

FM電波は、AM電波に比べて周波数が高いため、光に似た性質をもっています。そのため建物や山に電波がさえぎられて、受信できない場合もできます。したがってFM電波の受信範囲は、AM電波に比べてかなり狭くなります。



2. フェードアウト

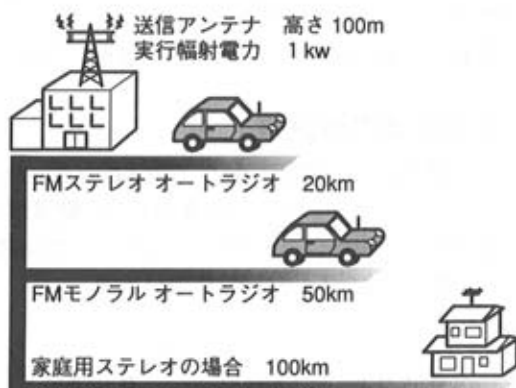
FM放送のように高い周波数の電波は、「物」に反射されやすいという性質をもっています。そのため建物やポール等の障害物の陰を車が通過すると、アンテナに十分な電波が入らなくなり、音が途切れて「シャッ、シャッ」というような雑音が生じる「フェードアウト」(消失)現象が起こることがあります。

3. FM放送のサービスエリア

家庭用ステレオでFM放送を受信する場合は、アンテナを高くしたり、高感度アンテナを使用できるため、電波が弱くても十分に聞くことができます。

しかし自動車ラジオの場合は、走りながら受信し、アンテナ形状や取り付け位置の制限、車のエンジン雑音の影響などもあって家庭用に比べて良聴地域は狭くなります。

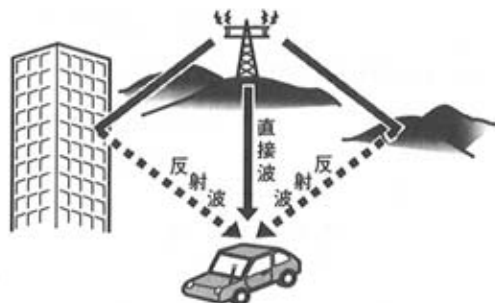
電波を十分にキャッチするために、アンテナは全段のばしてお使いください。

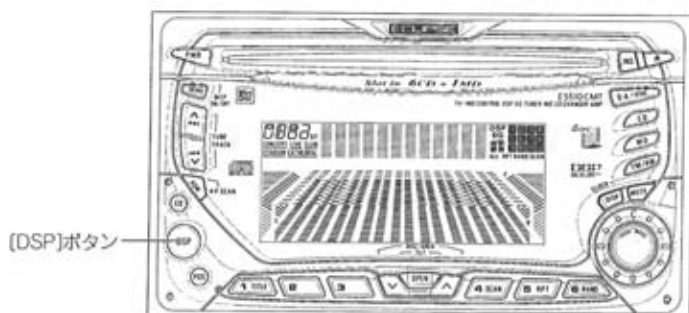


(図の聴取可能範囲は、障害のない平坦地の場合の一例であって、電力、地形等によって大きな差異があります。)

4. マルチパス

放送局の送信アンテナからの直接波と、建物や山にぶつかって反射した反射波を同時に受信すると、高音域で「ジュル、ジュル」という雑音ができたり、女声のアナウンスがハスキーになったりします。これを「マルチパス」(多重伝播)ひずみといいます。このような現象は、2の「フェードアウト」と同様にFM放送のように高い周波数の電波特有の伝わりかたに起因しています。この現象が起こったときは、車を移動させる以外に避けることはできません。





◆DSP/EQの操作

■ DSPの操作

DSPは、再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境（ルームサイズ）の臨場感を擬似的に再現することができます。

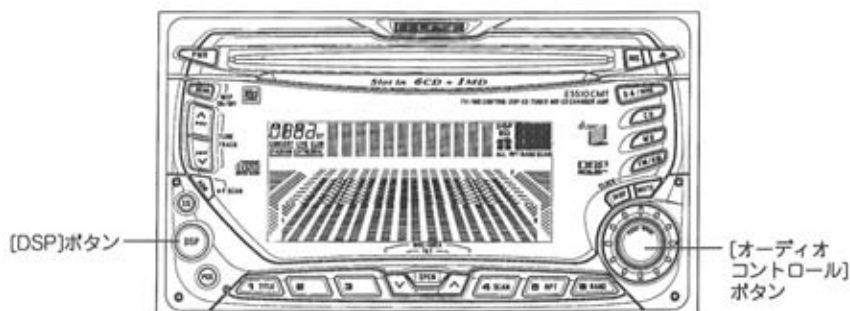
▼ ルームサイズを切り換える

1. [DSP]ボタンを押してルームサイズを切り換える

5パターンのルームサイズが用意されています。次のように切り換わります。



調整モードが解除され、切り換えたルームサイズが有効になります。



選択したDSPモードに合わせて表示部左の選択したルームサイズの下のカバーが点灯します。

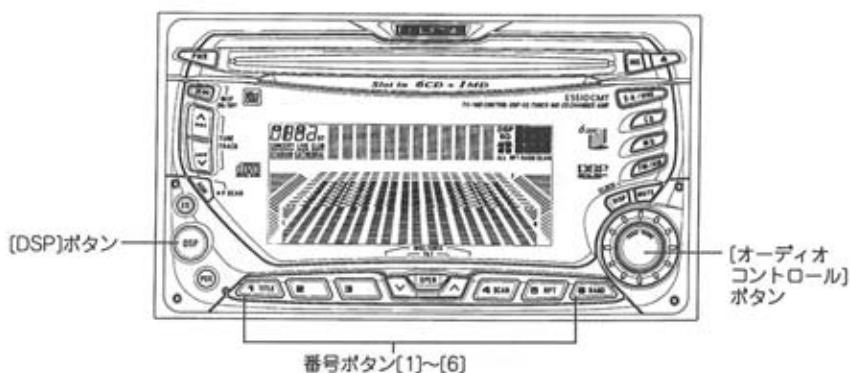
CONCERT LIVE CLUB
STADIUM CATHEDRAL

▼ 各モードの詳細を調整する

各ルームサイズのモードの詳細を調整します。

1. 詳細を変更したいルームサイズが表示されるまで[DSP]ボタンを押す
2. [オーディオコントロール]ボタンを押してDSPモードを選ぶモードは、次のように切り換わります。

VOLUME → DSP(簡易調整) → EQ(簡易調整) → BALANCE
 ↑ SUB-W LEVEL ← FADER ←



3. [オーディオコントロール]ボタンを左右に回す

レベルを調整します。

右に回す…数値が増加する

左に回す…数値が減少する

4. ルームサイズが点滅表示するまで[DSP]ボタンを押し続ける

DSP調整モードに切り換わります。

5. 「P1～6 MEMORY」と表示されるまで記憶させる番号ボタン

(プリセットボタン)を押す

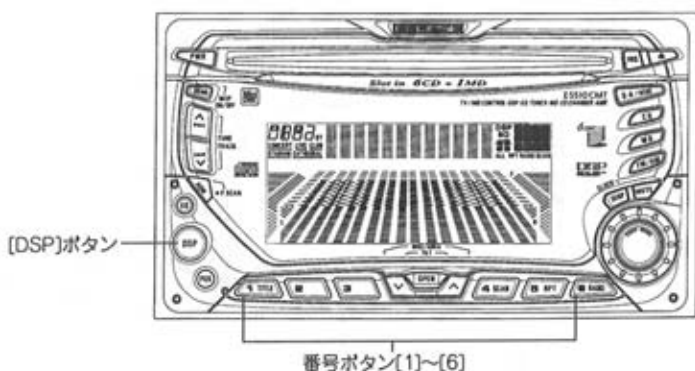
プリセットが書きかわります。

6. [DSP]ボタンを押す

調節モードが解除され、変更が有効になります。



簡易調整については、22ページの「出力レベルの調整」を参照してください。



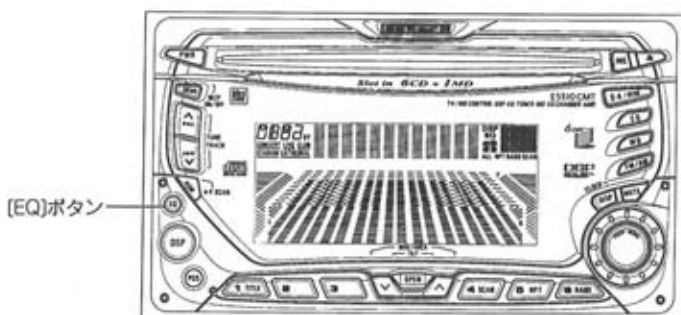
▼ 記憶したパターンを呼び出す

プリセットボタンを押してあらかじめ記憶したルームサイズを呼び出します。

ルームサイズを記憶した番号ボタンをプリセットボタンと呼びます。

1. [DSP]ボタンを長めに(1秒以上)押す
2. 任意の番号ボタンを押してルームサイズを選択する
3. [DSP]ボタンを押す

選択したルームサイズが有効になります。



■ EQの操作

EQは、再生する音楽のジャンルや楽器に合わせて周波数を調整し、最適な状態で音楽を楽しむことができます。

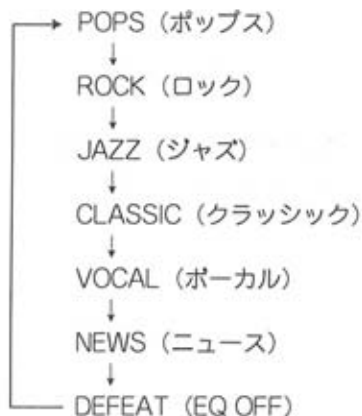
[EQ]ボタンを長めに(1秒以上)押してEQ調整モードに切り換えてから各操作を行います。

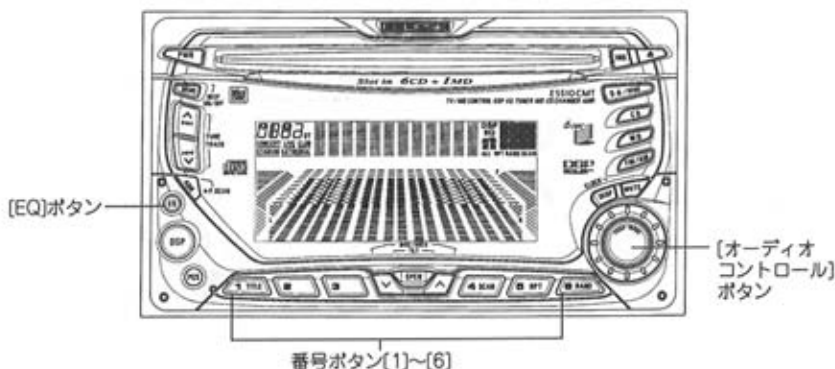
▼ EQを切り換える

イコライザモードを切り換えます。

1. [EQ]ボタンを短めに押す

ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

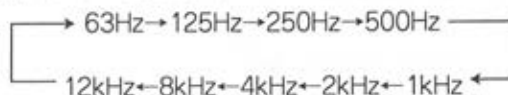




▼ 周波数を調節する

1. [EQ]ボタンを長めに(1秒以上)押す
EQ調整モードに切り換わります。
2. [オーディオコントロール]ボタンを押して、調整周波数を選択する

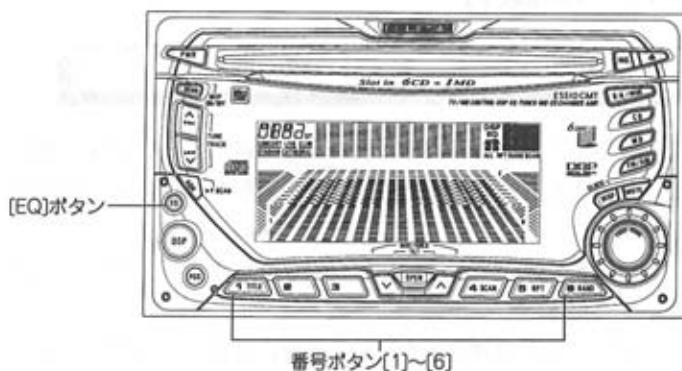
次のように調整周波数が切り換わります。



[オーディオコントロール]ボタンを左右に回してレベルの大きさを調整します。

右……大きくなる
左……小さくなる

3. 「P1~6 MEMORY」と表示されるまで、記憶させる番号ボタン（プリセットボタン）を押す



▼ プリセットパターンを呼び出す

1. [EQ]ボタンを長めに(1秒以上)押す
2. 番号ボタン[1]~[6]のいずれかを押す
記憶されたプリセットパターンが呼び出されます。
3. [EQ]ボタンを長めに押す
呼び出したパターンが有効になります。
4. [EQ]ボタンを長めに押す
調整モードが解除され、変更した内容が有効になります。



プリセットパターンを呼び出した場合、イコライザモードは「USER」と表示されます。

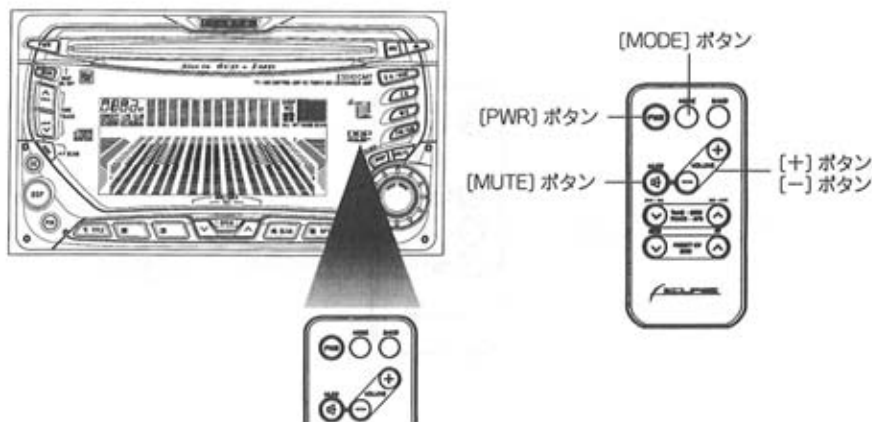
◆ リモコンの操作

使用上の注意

- ・ リモコンは小型で軽量なため取り扱いには注意してください。落としたりぶつけたりすると、破損したり、電池の消耗を早めたり、誤動作の原因になります。
- ・ リモコンは湿気、ほこりを避け、ショックを加えたり、水などをかけたりしないでください。
- ・ ダッシュボードなど直接日光のあたる場所には置かないでください。
- ・ 運転の妨げにならないようにご使用ください。

清掃について

- ・ リモコンのお手入れの際に、乾いた布(汚れがひどい場合は水を少しつけて堅くしぼった布)で拭いてください。ベンジン、シンナー類を使うと、ケースや塗装が変質しますので、絶対に使用しないでください。



■ 電源を入れる/切る

1. [PWR]ボタンを押す

ボタンを押すごとに電源が入ったり、切れたりします。

●注意●

本体の[PWR]ボタンを2秒以上押してALL OFF状態になっている場合は、リモコンによる操作はできません。

■ 音量を調節する

1. [+]ボタンまたは[-]ボタンを押す

+.....音量が上がる

-.....音量が下がる

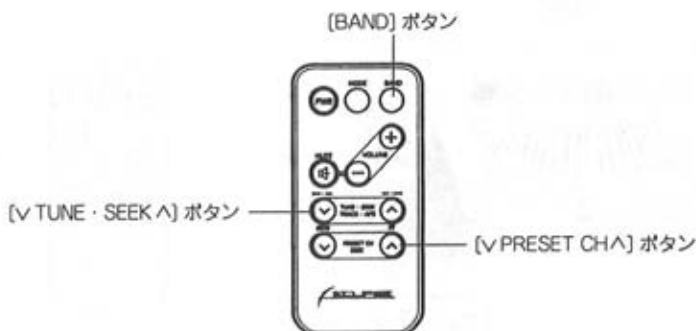
▼ 瞬時に音量を下げる(ミュート)

[MUTE]ボタンを押すたびに、瞬時に音量を小さくしたり、元に戻したりすることができます。

■ 機能を切り換える

1. [MODE]ボタンを押す

ボタンを押すごとに、チューナ→ディスク→TVの順に切り換わります。



■ チューナ利用時の操作

▼ FM/AMを切り換える

1. ^{バンド}[BAND]ボタンを押す

ボタンを押すたびに、FM1→FM2→AM1→AM2の順に切り換わります。

▼ 放送局を選ぶ（自動・手動）

ボタンを短く押すと手動で、長めに（1秒以上）押すと自動で放送局を選べます。

1. ^{チューン・_seek}[V TUNE・SEEK へ]ボタンを押す

へ.....周波数の高い方へ選局する

▽.....周波数の低い方へ選局する

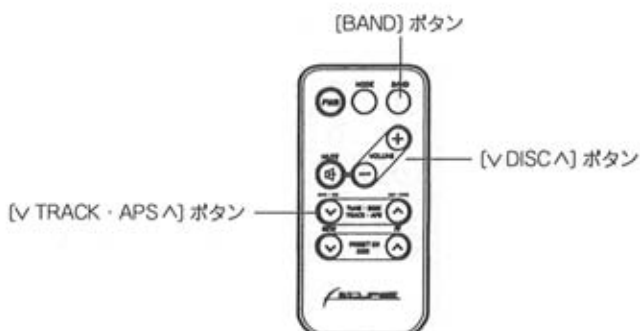
▼ 記憶済みの放送局を選ぶ

本体で記憶させた6つの放送局(プリセット選局)から呼び出します。
（「手動で放送局を記憶させる」44ページ参照）

1. ^{プリセットチャンネル}[V PRESET CH へ]ボタンを押す

へ.....プリセット番号の高い方へ選局する

▽.....プリセット番号の低い方へ選局する



■ MD、CD利用時の操作

▼ 次の曲に進む/曲の頭に戻る

1. ^{トラック・エービーエス}[V TRACK・APS ^]ボタンを押す

^.....次の曲に進む

V.....演奏中の曲の頭に戻る



ボタンを押しつづけると、演奏内の曲を早送り(^方向)または早戻し(V方向)します。

▼ 次のディスクに進む/前のディスクに戻る

1. ^{ディスク}[V DISC ^]ボタンを押す

^.....ディスク番号が上のディスク(次のディスク)へ移動する

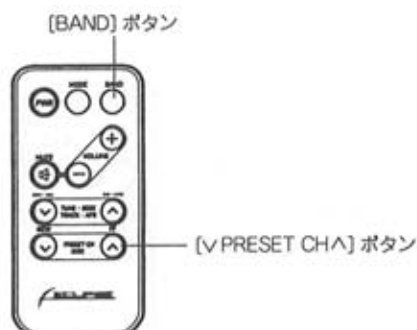
V.....ディスク番号が下のディスク(前のディスク)へ移動する

▼ ディスクモードを切り換える

1. ^{バンド}[BAND]ボタンを押す

CD(MD)チェンジャーを接続しているときは、ボタンを押すたびにCDチェンジャー(内蔵)→CDオートチェンジャー(別売)→MDプレーヤー→MDチェンジャーの順に切り換わります。

このとき、ディスクがセットされていない機器を飛ばして表示が切り換わります。



■ TV利用時の操作

(1DINTV接続時のみ)

▼ チャンネルを選ぶ

[^{プリセットチャンネル}V PRESET CH ^]ボタンを使うと、本体でプリセットしたチャンネルを選局できます。

1. [^{プリセットチャンネル}V PRESET CH ^]ボタンを押す

^数字が上のチャンネルを選局する
V数字が下のチャンネルを選局する

▼ バンドを切り換える

1. [^{バンド}BAND]ボタンを押す

ボタンを押すたびに、TV1→TV2の順に切り換わります。

■ 電池を交換する



警告

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

電池は、CR2025(1個)をご使用ください。

1. リモコン裏面にある引き出し口のロックを右に動かしながら、引き出し口につめをひっかけて電池ケースを引き出す



2. 電池を入れ替える

＋表示を上にして電池をセットしてください。

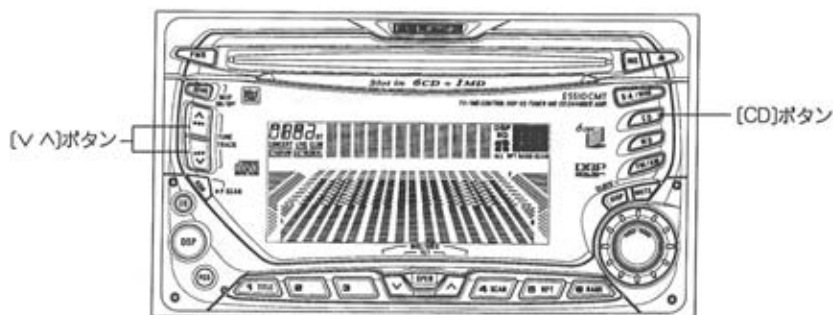


3. カチッと音がするまで引き出し口を差し込んで 電池ケースを閉める



●注意●

誤って電池を飲み込むことのないよう、取り扱いには十分注意してください。



◆ (別売)CDオートチェンジャーを接続したときの操作

CDオートチェンジャー(E7707NACのみ)を接続したときの操作手順を説明します。チューナやMDから切り換えるときは[CD]ボタンを押してください。

■ CDに切り換える

1. [CD]ボタンを押す

ボタンを押すたびに、内蔵または別売CDオートチェンジャーが交互に切り換わります。

このとき、CDがセットされていない機器は表示されません。

■ 次の曲に進む/曲の頭に戻る

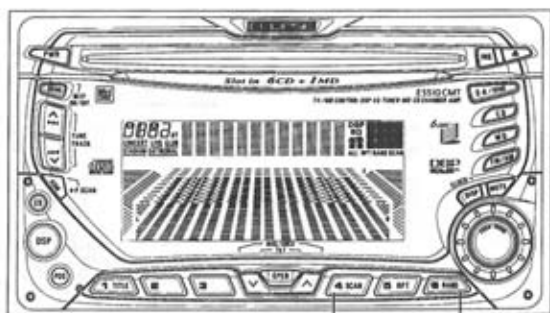
1. [V ^]ボタンを押す

^.....次の曲に進む

V.....演奏中の曲の頭に戻る



ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(^方向)または早戻し(V方向)します。



番号ボタン[4]~[6]

■ 曲の始まりを演奏する(SCAN)

1. 番号ボタン[4]を押す

演奏しているCD全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。

「ALL SCAN」と表示されるまで押すと、セットしている全CDの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

■ 繰り返し演奏する(REPEAT)

1. 番号ボタン[5]を押す

演奏中の曲を繰り返し再生します。

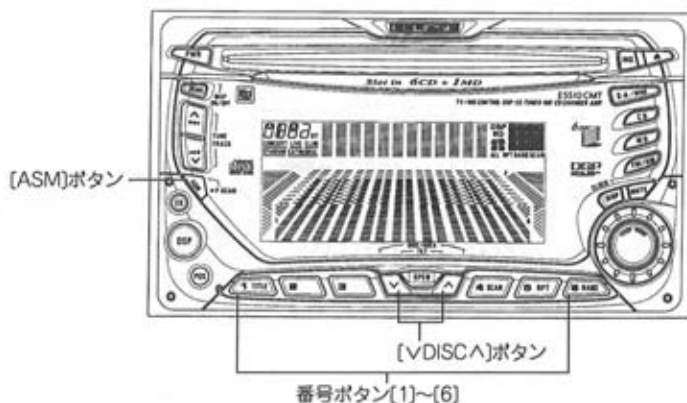
「ALL REPEAT」と表示されるまで押すと、演奏中のCD内の全曲を繰り返し再生します。

■ 曲の順番を変えて演奏する(RANDOM)

1. 番号ボタン[6]を押す

演奏中のCD内の曲を順不同に演奏します。

「ALL RANDOM」と表示されるまで押すと、セットしている全CD内の曲を順不同に演奏します。



- ・まれに同じ曲が続けて演奏(選択)されることがありますが、故障ではありません。
- ・「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」、「REPEAT」、「ALL」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

■ 次のCDに進む/前のCDに戻る

1. [V DISC ^]ボタンを押す
 ^.....CD番号が上のディスクへ移る
 V.....CD番号が下のディスクへ移る

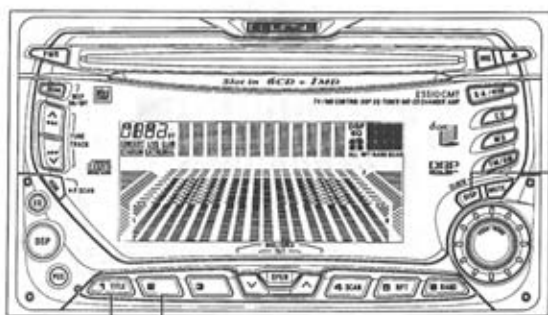
■ 演奏するCDを指定する

セットしているCDのうち、お聞きになりたいCDをダイレクトに指定できます。

1. [ASM]ボタンを押す
2. 番号ボタン[1]~[6]のいずれかを押す

番号ボタン	1	2	3	4	5	6
ディスク番号	1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12

ディスク番号7~12を指定するときは、番号ボタンを長めに押してください。



番号ボタン[1]、[2]

■ 表示を切り換える

1. [DISP]ボタンを押す

ボタンを押すごとに、タイトル→時計の順に表示が切り換わります。

■ CDのタイトルを設定する

CDにタイトルをつけ、表示させることができます。タイトルを設定していないときは、「NO TITLE」と表示されます。



- ・最大30枚分のタイトルを記憶させることができます。
- ・すでに30枚分のタイトルを記憶しているときは、「FULL DATE」と表示され設定モードになりません。
- ・タイトルは、最大12文字まで入力できます。

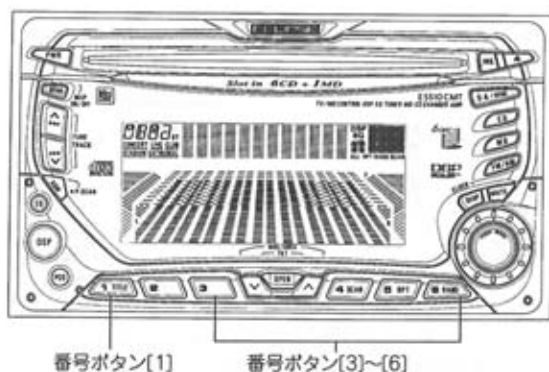
タイトルを設定したいディスクを選んでから以下の動作を行ってください。

1. 番号ボタン[1]を押す

ディスクタイトル設定モードになります。

2. 番号ボタン[2]を押して入力する文字の種類を選択する

「SELECT□□□」と表示され、ボタンを押すと「ABC」(大文字アルファベット)→「アイウ」(カナ)→「123」(数字)→「! "#」(記号)の順に切り換わります。



3. 番号ボタン[3]または番号ボタン[4]を押して入力位置を選択する

点滅している位置に文字が入力されます。

番号ボタン3.....左に戻る □0C

番号ボタン4.....右に進む A□C



- ・ 入力する文字の種類を変更するときは、手順2、3を繰り返してください。
- ・ 文字は最大12文字まで入力できます。

4. 番号ボタン[5]または番号ボタン[6]を押して文字を選択する

番号ボタン5.....次に進む

番号ボタン6.....前に戻る

5. 番号ボタン[1]を押す

CDのタイトルが設定されます。



■ 設定したタイトルを変更する

1. 番号ボタン[1]を押す

ディスクタイトル設定モードになります。

2. 番号ボタン[3]または番号ボタン[4]を押して変更したい文字を点滅させる

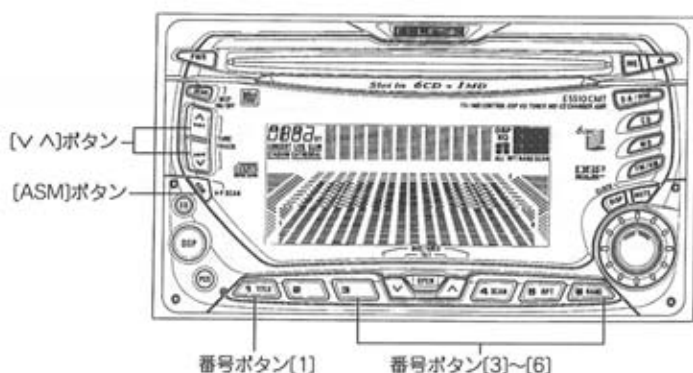
番号ボタン3.....左に戻る

番号ボタン4.....右に進む

3. 番号ボタン[5]または番号ボタン[6]を押して入力する文字を選択する

番号ボタン5.....次に進む

番号ボタン6.....前に戻る



空白を入りたいときは、以下の手順にしたがってください。

1. 番号ボタン[3]または[4]を押してカーソルを移動し、空白を入りたい場所を点滅させる

ABC

2. 番号ボタン[5]または[6]を押して空白を選ぶ

A□C

4. 番号ボタン[1]を押す

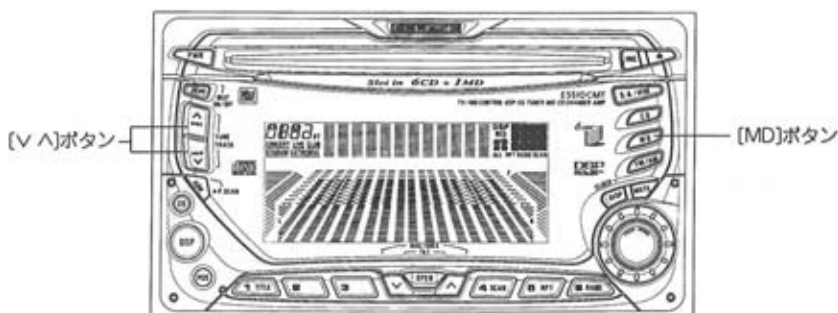
タイトルが変わります。

■ 設定したタイトルを削除する

1. タイトル全体が点滅するまで番号ボタン[1]を押す

ABC

2. 削除したいタイトルを[V ^]ボタンで選ぶ
3. 「DELETE!!」と表示されるまで[ASM]ボタンを押す



◆ (別売)MDチェンジャーを接続したときの操作

MDチェンジャーを接続したときの操作手順を説明します。
チューナやCDから切り換えるときは[MD]ボタンを押してください。

■ MDに切り換える

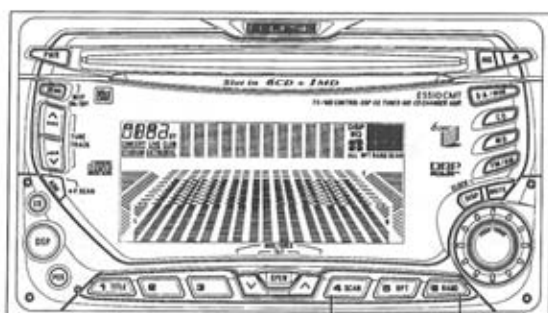
1. [MD]ボタンを押す
ボタンを押すたびにMDプレーヤとMDチェンジャーが切り換わります。
このとき、MDがセットされていない機器は表示されません。

■ 次の曲に進む/曲の頭に戻る

1. [V ^]ボタンを押す
^次の曲に進む
V演奏中の曲の頭に戻る



ボタンを押しつづけると、演奏中の曲を早送り(^ 方向)または早戻し(V 方向)します。



番号ボタン[4]~[6]

■ 曲の始まりを演奏する(スキャンSCAN)

1. 番号ボタン[4]を押す

演奏中のディスク内の全曲の始まりを10秒間ずつ演奏します。
「ALL SCAN」と表示されるまで押すと、セットしている全ディスクの1曲目を10秒間ずつ演奏します。

■ 繰り返し演奏する(リピートREPEAT)

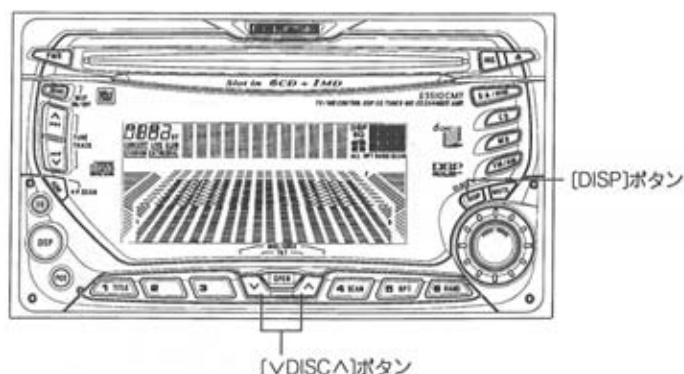
1. 番号ボタン[5]を押す

演奏中の曲を繰り返し再生します。
「ALL REPEAT」と表示されるまで押すと、演奏中のディスク内の全曲を繰り返し再生します。

■ 曲の順番を変えて演奏する(ランダムRANDOM)

1. 番号ボタン[6]を押す

演奏中のディスク内の曲を順不同に演奏します。
「ALL RANDOM」と表示されるまで押すと、セットしている全ディスク内の曲を順不同に演奏します。



「曲の始まりを演奏する」、「繰り返し演奏する」、「曲の順番を変えて演奏する」を選択すると表示部上部に「SCAN」、「REPEAT」、「ALL」などの文字が表示され、使用中の機能を確認することができます。

■ 次のMDに進む/前のMDに戻る

1. [V DISC A]ボタンを押す

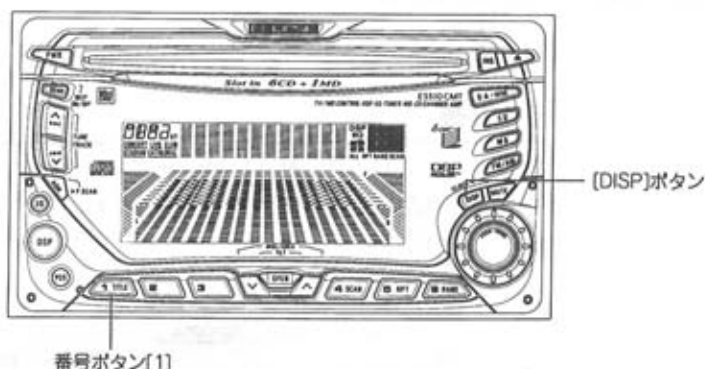
- △.....MD番号が上のディスクへ移動する
- ▽.....MD番号が下のディスクへ移動する

■ ディスクタイトルや曲名を表示する

MDにディスクタイトル名や曲名が記録されているときは、それらをスクロール表示させることができます。表示できる文字数は英数字100文字、カタカナ混在の場合100文字未満となります。表示部には、最大12文字まで表示され、以降の文字はスクロールされます。

1. ^{ディスプレイ}[DISP]ボタンを押す

タイトル名または曲名が表示されるまで切り換えます。



2. 番号ボタン[1]を短めに押す

ボタンを押すと、ディスクタイトル→トラックタイトルの順にスクロール表示され、トラックタイトルを表示した状態で止まります。再度ボタンを押すと、ディスクタイトルからスクロール表示を始めます。

ボタンを1秒以上押すと、トラックタイトルが2段表示され、上方向へスクロールを繰り返します。再度ボタンを押すと解除されます。

●注意●

- ・ MDにタイトルが記録されていないときや本機の表示部にMDのタイトルまたは曲名が表示されていないときは、この機能はご利用になれません。
- ・ 入力した機器によって、タイトルが正常に表示されないことがあります。
- ・ ディスクによって全てのタイトル文字が表示されないことがあります。

■ 表示を切り換える

1. ディスプレイ [DISP]ボタンを押す

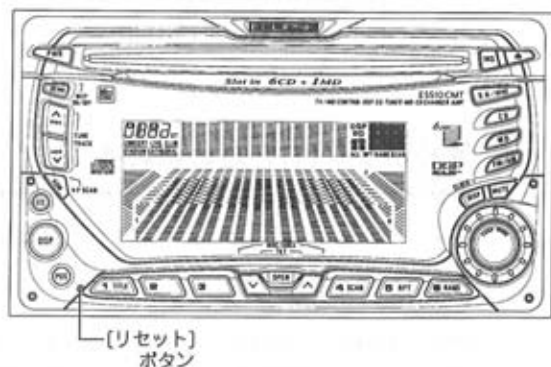
ボタンを押すごとに、タイトル→時計の順に表示が切り換わります。

◆ 困ったときは

お問い合わせになる前に、次の項目をご確認ください。

● 注意 ●

ボタンを押しても正常に動作しない、ディスプレイが誤表示するなどの異常が発生したときは、先端の尖ったものでリセットボタンを押してください。



[リセット] ボタンを押すと記憶させた内容は消去され、すべての設定が工場出荷時の値に戻ります。

ディスクがセットされているときは、ディスクが排出されるので、ディスクを取り出してください。

■ インフォメーションが点滅する

「INFO No.」が表示されたときは、下表を参考に対処してください。
また、症状が改善されない場合は、機器の故障が考えられます。お買い求めの販売店にご相談ください。

No.	インフォメーション	対 処
2	マガジンにディスクが入っていない	ディスクを入れてください。
3	ディスクの信号面に紙やシールが貼ってあったり、キズやホコリがある。	ディスククリーナ等で中心から外側方向へ軽く拭き取ってください。
4*	無録音のディスクが入っている	録音済みのディスクを入れてください。
5	オートチェンジャーのメカトラブル	<ul style="list-style-type: none"> ・オートチェンジャーのイジェクトボタンを押して一度マガジンを出し、再度マガジンを挿入して再生してください。 ・イジェクトしてもマガジンが出ないときや再生できない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
6	オートチェンジャーの内部が高温になった	しばらく待ち、温度が下がってから再生をはじめてください。それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
7	オートチェンジャーの内部電源が異常になっている	ACCを一度OFFにし、再度ONにしてから操作してください。それでも機能が停止しているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
8*	ディスクの交換トラブルが発生している	ディスクを再度挿入するか、取り出してください。

*この内容は、MDチェンジャーのみ適用されます。

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
共通	音が出ない。 音が小さい。	音量が下がっていませんか。	音量を上げてください。	19
		ミュート(MUTE)が働いていませんか。	ミュート(MUTE)を解除してください。	19
		フェダー(FADER)やバランス(BALANCE)が片寄った設定になっていませんか。	フェダー(FADER)やバランス(BALANCE)を適正な位置に調整してください。	22
		その他、音声信号配線の線噛みや断線、スピーカーの故障やコネクタ抜けなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
	電源が入らない。	一度にたくさんの電装品を取り付けて電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		その他、お車のバッテリーの消耗、ヒューズ切れ／電源、通信記録の断線や線噛みなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
	記憶した周波数やタイトルが消えてしまう。	お車の定期点検などでバッテリーを外されたことはありませんか。	もう一度記憶し直してください。	44 45
		一度にたくさんの電装品が取り付けられて電力不足になっていませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
	ガイドトーン(操作音)が出ない。	ガイドトーンの設定がOFFになっていませんか。	ガイドトーンの設定をし直してください。	

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
共通	リモコン操作ができない。	リモコンの電池が消耗していませんか。	リモコンの電池を交換してください。	63 64
		リモコンの電池の向きが＋－逆になっていませんか。	正しい向きにセットし直してください。	63
		リモコン受光部に直射日光が当たっていませんか。 リモコン受光部が汚れていませんか。 リモコン受光部の前に障害物がありますか。	リモコン受光部にリモコンを近づけてご使用ください。 障害物が赤外線を遮らないようにしてください。	
		その他、リモコンの故障が考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
CD	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。 または、ディスクが排出できない。 ディスクチェンジができない。	ディスクにラベルやシールなどを貼り付けていませんか。	ディスクにはラベルやシールなどを貼り付けないでください。	9
		ディスクにバリや変形、破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。バリのあるディスクは、バリを取り去ってご使用ください。変形や破損したディスクは、ご使用にならないでください。	10
	音が飛ぶ。 音が途切れる。 音質が悪い。	ディスクにキズや汚れはありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。キズのあるディスクはご使用にならないでください。	9
		取り付け角度は適正ですか。取り付けにガタはありませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		悪路を走行されていますか。	悪路走行での使用は、できる限り避けてください。	7
		その他、ディスクに記録されている音楽ソースの音質やトラブルなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
MD	ディスクが入らない。 ディスクを入れてもすぐに出てくる。	ディスクカートリッジの向きに誤りはありませんか。	正しい向きにセットし直してください。	17
		ディスクカートリッジのラベルがはがれかかっていますか。	ディスクのラベルを替えてください。	12
		ディスクカートリッジ変形や破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。変形や破損したディスクは、使用しないでください。	
		無録音のディスクを使用していませんか。	録音済みのディスクを使用してください。	
	ディスクが排出できない。 ディスクチェンジができない。	ディスクカートリッジに変形や破損箇所はありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。変形や破損したディスクは、使用しないでください。 ディスクのラベルを整えてください。	
	音が飛ぶ。 音が途切れる。 音質が悪い。	ディスクにキズや汚れはありませんか。	他のディスクに入れ替えてみてください。キズのあるディスクは使用しないでください。	
		取り付け角度は適正ですか。取り付けにガタはありませんか。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		悪路を走行されていませんか。	悪路走行での使用は、できる限り避けてください。	7
		その他、録音に使用された機器の調子が悪い、録音ソース（CD、テープなど）の音質やトラブルなどが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	

	症 状	原 因	処 置	参照 ページ
ラジオ	放送を受信できない。 雑音が入る。	アンテナが収納状態ではありませんか。 アンテナコードは抜けていませんか。	アンテナを伸ばしてください。 アンテナコードを接続してください。	
		周波数は正しくセットされていますか。	周波数を正しくセットし直してください。	44 45
		旅行などで放送サービスエリアを外れていませんか。	旅行先の地域の放送周波数にセットし直してください。（放送サービスの無い地域もありますので、ご注意ください。）	43
		コンピュータを搭載した機器や携帯電話などを使用されていませんか。	機器の使用を停止すれば解消されます。常に発生する場合は、ご購入の販売店にて点検を行ってください。	
		その他、アンテナの劣化やアンテナ配線の断線などが考えられます。	ご購入の販売店にて点検を行ってください。	

◆仕様について

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスニングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

また、DSP、TV、MDチェンジャー、CDオートチェンジャーおよびシングルCDと組み合わせることができます。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

本機の仕様は、次のようになっています。

CD部

周波数特性	20Hz~20KHz
ダイナミックレンジ	95dB
S/N比	96dB(IHF-Aネットワーク)
高調波歪み率	0.01%(0dB, 1KHz)
ワウ・フラッタ	測定限界以下

MD部

周波数特性	20Hz~20KHz
ダイナミックレンジ	90dB
S/N比	92dB(IHF-Aネットワーク)
高調波歪み率	0.03%(0dB, 1KHz)
ワウ・フラッタ	測定限界以下

チューナ部

受信周波数	AM522~1629KHz FM76.0~90.0MHz
実用感度	AM22 μ V(S/N20dB時) FM12dBf(S/N30dB時)
周波数特性	30Hz~15KHz(FM)
ステレオセパレーション	38dB

共通部

調整周波数	63Hz, 125Hz, 250Hz, 500Hz, 1kHz, 2kHz, 4kHz, 8kHz, 12kHz
トーン変化量	±10dB
トーンコントロール	・ BASS 100Hz±10dB ・ TREBLE 10KHz±10dB
ラウドネス	・ 100Hz+9dB ・ 10kHz+5dB
最大出力	35W×4
適合負荷インピーダンス	4Ω(各チャンネル)
LINE OUT出力レベル	200mV/-20dB
電源電圧	DC13.2V(11~16V)、⊖ アース専用
消費電流	1W×4出力時 約3A、最大約12A
寸 法	178mm(幅)×50mm(高さ)×155mm(奥行)
重 量	本体約3.3Kg

●注意●

部品定数および回路は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

◆ アフターサービスについて

1. 販売店でお渡しする保証書は、かならず「販売店名、お買い上げ日」などの記入および記載内容をその場でお確かめのうえ、大切に保管してください。
2. 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
3. 故障かなと思ったときは、修理に出す前に本書の「困ったときは」をご覧くださいのうえ、もう一度お調べください。それでも問題が解決しない場合は、次の要領でお問い合わせください。
 - ◆ 保証期間中は、商品に保証書を添えてお買い求めの販売店にお持ち込みください。
保証書に記載しております保証規定にもとづいて、無料で修理いたします。
*修理、点検における商品の脱着費用は、保証期間内でも基本的に有償となります。
 - ◆ 保証期間が過ぎているときは、お買い求めの販売店にご相談ください。
お客様のご希望により、有料で修理いたします。
4. 出張による修理および点検はおこなっておりません。
かならずお買い求めの販売店にお持ち込みください。
5. この商品は補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後最低6年間保有しております。

商品に関するお問い合わせ先

〈商品の機能・操作等に関するお問い合わせはお求めの販売店または下記「お客様相談窓口」へ〉

※修理のご依頼は、お求めの販売店へお願いいたします。

【お客様相談窓口】

富士通テン(株)本社	0120-022210
北海道全域	(011)821-2221
東北、関東、甲信越地区	(03)3366-3833
中部、北陸地区	(052)581-8726
近畿、中国、四国地区	(078)811-2245
九州全域、沖縄	(092)511-3252

受付時間：午前 10:00 ～ 12:00 午後 1:00 ～ 5:00
(土・日・祝日などを除く)

〈修理に関するお問い合わせについては、お求めの販売店または最寄りの下記販売会社へ〉

富士通テン北海道(株)	〒003-0809 札幌市白石区菊水9条2丁目1番地	(011)821-2221	北海道全域
富士通テン東日本(株)	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目14番24号 (西新宿KFビル)	(03)5330-6244	東京、神奈川、千葉、 甲信越地区
北関東支店	〒329-0201 栃木県小山市大字栗宮1851番地1	(0285)22-6410	栃木、埼玉、群馬、茨城
仙台支店	〒983-0841 仙台市宮城野区原町2丁目3番48号 (イワイビル)	(022)256-2291	東北地区
富士通テン中部(株)	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目11番10号	(052)581-8621	愛知、岐阜、三重
北陸支店	〒920-0918 金沢市尾山町1番8号 (朝日生命金沢ビル)	(076)222-0185	福井、石川、富山
静岡営業所	〒422-8067 静岡市南町18番1号 (サウスポット静岡)	(054)203-0090	静岡
富士通テン関西(株)	〒658-0046 神戸市東灘区御影本町6丁目2番21号	(078)811-2451	兵庫
大阪支店	〒571-0064 大阪府門真市御堂町3番23号	(06)6902-8414	大阪、京都、滋賀、奈良、 和歌山
広島支店	〒734-0044 広島市南区西露町2番25号	(082)255-2422	中国地区
高松営業所	〒760-0034 高松市内町1番13号 (日新内町ビル)	(087)822-1411	四国地区
富士通テン西日本(株)	〒812-0032 福岡市南区塩原2丁目7番7号	(092)511-3210	福岡、佐賀、長崎、熊本、 大分、沖縄
鹿児島営業所	〒890-0053 鹿児島市中央町16番10号 (スカイビル)	(099)250-4737	鹿児島、宮崎

富士通テン株式会社

所在地 〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号

電話 神戸(078)671-5081(代表)

090002-2392A700

0101DE (N.I)